

成長するe企業の条件は

「経営力×技術力×将来性」

eビジネス業界で高い年収を得るには、どのような選択するべきか？
あらゆる業界に共通する答えが「成長する企業で活躍する」ことだ。
これまで数多くのeビジネス企業に投資を行ってきた
ベンチャーキャピタリストが、
今後成長するeビジネス企業の条件を語った。

eベンチャーは投資が ストップし厳しい現状

— 現在、eビジネスを取り巻く環境はどのように変化していると考えていますか？

— IT革命が急速に進み、伝統的な上場企業が本格的にIT分野に参入し始めた結果、eビジネス業界では早くも優勝劣敗が表面化しつつあります。こうした傾向に拍車をかけたのが、投資家による企業選別の動き。その背景には米国の影響があります。

米国ではネットベンチャーが成熟期に入り、企業間の優勝劣敗もほ

ぼ明らかになりつつあります。そのあたりを受けたのが日本のネットベンチャー。日本では未だベンチャーの先行投資期にあるにもかかわらず、投資家が選別投資を始めてしまったのです。この結果、ネット産業が十分成長していないにもかかわらず資金の流れがストップしてしまつた。ベンチャーは厳しい風にさらされているのが現状です。

一方でeビジネス市場全体は順調に成長しています。サーバーなどITインフラのコストパフォーマンスが急速に向上し、携帯電話の販売台数も急拡大している。こうした中で勝ち残る企業が今後ますます



本テクノロジーベンチャーパートナーズ
ベンチャーキャピタリスト

村口 和孝 氏

強力になっていくことが予想されま
す。

投資家が注目する ベンチャーは将来性高い

— eビジネス企業にとって、何が優勝劣敗の分かれ目となるのでしょうか。

ポイントは「経営力×技術力×事業の将来性」の3点です。まず技術力に関しては、ニッチ・マーケットでいいから世界に通用する最先端の技術力があって、それをビジネスに繋げる仕組みを持っていること。単にWebシステムを構築できるといっただけでなく、世界の技術的フロンティアに対するビジョンを持っているかどうか重要な鍵となります。次に「経営力」ですが、エネルギーシユでモラルを重視し、人間的に誠実であること、これが勝ち残る企業の経営者の条件。大きなトレンドを見

るマクロな大局観を持ち、情報に対する感性が鋭いアンテナの高い会社は、成長可能性が高いといえます。最後に事業の「将来性」について。モバイルや無線、セキュリティなどの関連領域、「Linuxを中心としたオープンソースな開発環境、ソリューション提供サービスなどは、今後特に有望な分野といえるでしょう。

— 投資家が注目する企業、イコールこうした条件を満たす企業といえますね。

米国では、あるベンチャーが有力ベンチャーキャピタルからの支援を受けているかどうかが転職を決める際の重要なポイントとなっております。有力VCからの支援の状況が株式公開の行方を左右するほどです。投資家の注目するベンチャー企業は将来性も高い。企業を見分ける際の有効な判断材料として、ぜひ活用して頂きたいですね。